



# 誰でも、どこでも、何度でも、無料で「検査」する方針の確立を求めました

12月定例県議会が、22日に閉会し知事提出32議案が全て可決しました。日本共産党は加藤英雄県議が討論を行いました。

## ○新型コロナ感染症への追加支援が盛り込まれた補正予算に賛成

一般会計補正予算額は1,417億3000万円。医療提供体制の整備、生活支援、中小企業への支援が中心です。日本共産党も新型コロナ感染症に関する支援を強化することには「異存はない」と賛成しました。

## ○「見えにくい感染」の発見と保護が今こそ必要

加藤県議は「第3波」を目の当たりにしてなお、県の対応はきわめて不十分だと指摘。「いま求められているのは、水面下の無症状病原体保有者を、いかにして特定するかだ」と強調して、感染の多い地域での大規模で集中的な「面的検査」と、施設・学校・各種機関などで定期的に行う「社会的検査」へ、県の責任で踏み出すことを求めました。今こそ新型コロナ感染症を封じ込めるための方針確立と検査体制の強化に、県が全力をあげるべきです。

感染者が多い地域での「面的検査」と  
医療・高齢者施設・学校等の「社会的検査」を

## 請願 核兵器禁止条約の署名・批准を国に求める請願など全てに賛成



署名提出集会

この議会には請願7件がだされました。日本共産党は、その全ての紹介議員となり、採択を主張しました。しかし、自民党、公明党などが反対し、不採択としました。

12月定例議会に提出された主な請願への態度 (○…賛成 ×…反対)	共産党	自民党	公明党	立千民
武器見本市(DSEI JAPAN)に幕張メッセを貸し出さない	○	×	×	×
30人学級の実現と必要な正規教職員の確保	○	×	×	×
就学援助制度の拡充と学費等の実質無償化	○	×	×	○
公立校教員に「1年単位の变形労働時間制」導入の条例制定を行わない	○	×	×	×
核兵器禁止条約に署名・批准を国に求める意見書提出	○	×	×	○

## 2019年度決算 浪費をあらため、災害対策など命と人権、暮らし、生業再建を最優先に



2019年度決算認定で討論に立った日本共産党の、みわ由美県議は、県民の命と暮らしを守る予算が十分に確保されていない一方で、財界の要望に沿った不要不急の巨大開発が「聖域扱い」となっていることを指摘。税金の使い方を県民生活にまわす県政への転換を求めて決算認定に反対しました。

### 防災・減災の予算・人員削減で被害が深刻な実態に陥る

市町村や共産党が求めていた河川の水位計増設や、土砂崩落対策が遅れ、昨年の台風・豪雨災害では被害が広がりました。土木事務所等の職員も大幅削減されています。命を守る人と予算は絶対に削ってはなりません。

### 児童虐待死が繰り返されるもとで一時保護所の過密を放置

児童相談所への虐待相談が全国4番目の9061件と増加し、一時保護所は、定員の2~3倍という詰め込み状態です。児童相談所増設と一時保護所の改善は急務です。

### 巨大道路建設や都市再開発…止まない大型公共事業の浪費

昨年度、圏央道・北千葉道路、つくばエクスプレス・金田西の区画整理事業におよそ200億円を費やしてきました。巨大開発は、抜本的に見直し、暮らし、防災等の予算を確保すべきです。